

リケンテクノスグループ概要

● 会社概要 (2020年3月31日現在)

社名	リケンテクノス株式会社	代表者	代表取締役 社長執行役員 常盤 和明
設立年月日	1951年(昭和26年)3月30日	従業員数	連結 1,944名 単体 731名
資本金	85億14百万円	本社所在地	東京都千代田区神田淡路町二丁目101番地 ワテラストワー

● 事業内容

当社グループは、以下の4つの市場別セグメントで事業を行っております。

セグメント名	市場	主要製品
トランスポートーション	自動車、鉄道、船舶市場等	コンパウンド、フィルム
デイリーライフ&ヘルスケア	医療、生活資材、食品包材市場	コンパウンド、フィルム、食品包材
エレクトロニクス	エネルギー、情報通信、IT機器市場等	コンパウンド、フィルム
ビルディング&コンストラクション	住宅、ビル、建築資材、土木市場等	コンパウンド、フィルム

● 主要製品

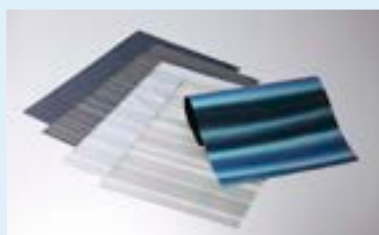
コンパウンド製品

塩化ビニルコンパウンド、熱可塑性エラストマー、導電性コンパウンド、制電性コンパウンド、バイオマスコンパウンドなど



フィルム製品

建築内装用化粧シート、鋼板用フィルム、ポリエステル樹脂系フィルム、IRカットフィルム、ウィンドウ用装飾フィルム、光学用フィルムなど



食品包材製品

塩化ビニルラップ、オレフィン系ラップなど



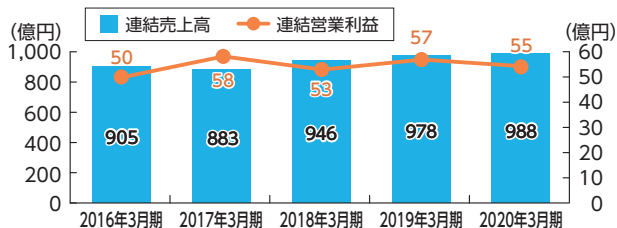
● 業績

2019年度(2020年3月期)のわが国経済は、前半は緩やかな回復傾向にあったものの、後半になり消費税増税による設備投資や個人消費の落ち込み、新型コロナウイルス感染症の影響による足下での大幅な下押しにより、全体としては厳しい状況となりました。

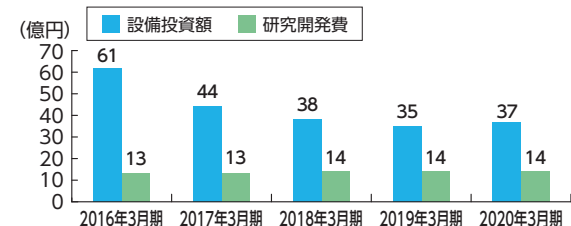
海外では、米国経済は製造業の弱含みが続き、欧州経済も低成長が継続しました。アジアでも米中貿易摩擦の影響による世界景気の減速を受けた輸出下押し等により、中国では景気減速が続き、タイ国においても景気は弱い動きとなりました。

このような環境の中、当社グループはグローバルな視点で市場別に顧客のニーズをきめ細かく確実に捉え、国内および海外の経営資源を効率的に活用して受注につなげることで業績の向上に努めました。その結果、売上高は98,808百万円、前連結会計年度比(以下「前年同期比」)1.0%増加、営業利益は5,581百万円(前年同期比3.1%減少)、経常利益は5,670百万円(前年同期比3.4%減少)、親会社株主に帰属する当期純利益は3,064百万円(前年同期比0.1%増加)となりました。なお、売上高につきましては、過去最高を更新いたしました。

● 業績の推移【連結】



● 設備投資額および研究開発費の推移【連結】



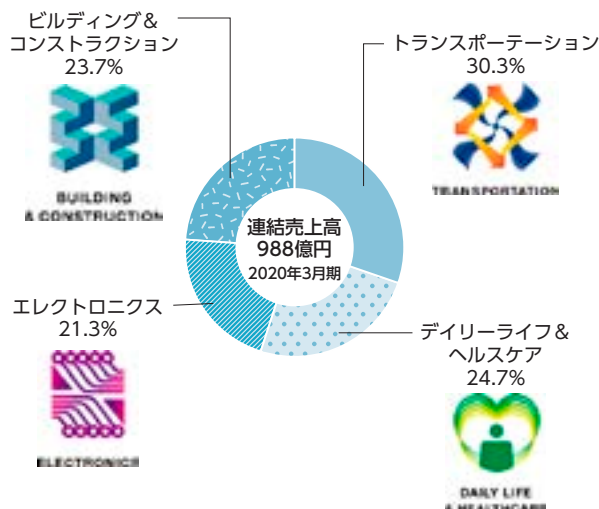
● 2020年3月期 業績

(単位:億円)

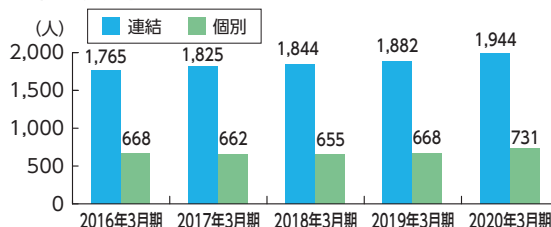
	連結	個別
売上高	988	416
営業利益	55	18
経常利益	56	36
当期純利益※	30	17

※親会社株主に帰属する当期純利益

● セグメント別連結売上高構成比



● 従業員の推移



● 中期経営計画

リケンテクノスグループにおける、3か年中期経営計画「More Value to All 2021 共に生み出せ!さらなる価値を!」の初年度が終了しました。掲げた5つの主要課題の完遂に向けて社員一同邁進してまいります。

● 経営方針

More Value to All 2021
共に生み出せ!さらなる価値を!
～すべての生活空間に快適さを提供するリーディングカンパニーを目指して～



● 計数目標

	2022年3月期(最終年度)目標
連結売上高	1,150億円
連結営業利益	85億円
連結経常利益	85億円
連結当期純利益	50億円

● 経営目標

	ROS 売上高 営業利益率	ROE 株主資本 純利益率
2022年3月期 (最終年度)目標	7%	8%

● 主要課題に対する2021年3月期までの取り組み

① グローバル経営の深化とシナジー

引き続き拠点間の連携によるグローバル運営を推進しつつ、アジア地域におけるコンパウンド事業戦略の強化を図ります。

② 戦略思考による収益力向上

シェアード機能の拡張と子会社のシステム統合を実施し、デザイン子会社との協働を進めていきます。また、コストダウンと顧客向けサービスを目的とした物流改革を実施します。

③ 効率を極めた生産体制の実現

設備故障の予兆管理システムの導入により生産の効率化を図り、エネルギーコストの削減に向けて工場共有設備の再構築を行います。同時に、グローバルでのもの造り強化を推進します。

④ サステナブルな社会への貢献

主要課題それぞれに対応したSDGsテーマを設定し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを強化します。

⑤ 人材育成とガバナンス重視の経営による企業体質の強化

採用手法の多様化と研修制度体系の再構築により、グローバル人材を強化していきます。また、コンプライアンスの徹底を継続します。